

登録コード	E4205900	開講年度	2026				
授業科目	言語教育論					担当教員	富田 昌平
英文授業名	Theory of Education of Language					副担当	水口 崇
単位数	2	講義期間	後期(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	
講義室	教育N 2 0 1 講義室		授業形態	講義	遠隔授業科目	備考	
信大コンピテンシー 該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	2 6 E カリ, 2 5 E カリ, 2 4 E カリ, 2 3 E カリ, 2 2 E カリ, 2 1 E カリ, 2 0 E カリ						
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観						
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能						
(2)授業で学べる「テーマ」	環境共生						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	経験したことや考えたことなどを自分なりの言葉で表現し、相手の話す言葉を聞こうとする意欲や態度を育て、言葉に対する感覚や言葉で表現する力を養うことが、領域「言葉」の目指すところであることを学ぶ						
(5)授業計画	第 1 回：幼稚園教育要領における幼児教育の基本 第 2 回：領域「言葉」のねらいと内容 第 3 回：他の領域との関連 第 4 回：幼児が経験し身に付けていく内容 第 5 回：幼稚園教育における評価 第 6 回：領域「言葉」と小学校の国語の関連 第 7 回：領域「言葉」と小学校の国語の関連例 第 8 回：幼児期の言葉と感情 第 9 回：幼児期の言葉と認知 第10回：領域「言葉」の指導と情報機器及び教材活用 第11回：指導案の構造と保育の構想 第12回：保育の実際と振り返りの観点 第13回：国語力やりテラシーと領域「言葉」 第14回：保育実践の例						
(6)成績評価の方法	成績評価の考え方は、次の通りである。 ・レポ - ト及びプレゼンテーション内容により、みずからが考え、みずからの意見を表現できるかをはかる（30%） ・定期試験により、保育内容についての実質的な知識・技能を備え、それらを応用できるかをはかる（70%） ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可。						
(7)成績評価の基準	授業で解説した内容と同レベルの内容が書かれていれば「水準にある」、より高いレベルの内容が書かれていれば「かなり上にある」、やや高度なレベルの内容が書かれていれば「やや上にある」、非常に高度なレベルの内容が書かれていれば「卓越している」。						
(8)事前事後学習の内容	毎回の授業時に指示される課題内容について、当該テーマの研究の背景や関連する事柄の調査、授業で学んだ内容を拡張する目的で、さらに広く深く文献研究を行うなど、事前・事後の取り組みを行い授業に臨むこと。						
(9)履修上の注意	取り扱った内容のみでなく、予習や復習によって知識や見解を広げ、現代の教育問題について深く理解すること。						
(10)質問、相談への対応及び連絡先	mizutaka@shinshu-u.ac.jp						
【教科書】	特に無し						
【参考文献】	適宜紹介する						